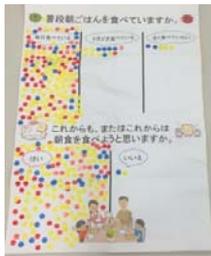


「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市	岡山県
取組市町村名	倉敷市
取組の名称	食育キャンペーン～父の日～
取組内容	<p>【目的】 若い世代が集まる場を活用し、朝食摂取や野菜摂取の重要性について啓発を行い、体験型のイベントを通じて食への関心を高めてもらうこととします。そして、大学と連携し学生との協働によって実施することで、若い世代の声を取り入れられ、若い世代のニーズにあった地域での活動展開となります。さらには、学生自身の食への関心を高めるとともに、学生から学生等へ若い世代の広がりが期待できます。</p> <p>【実施日】 平成28年6月19日(日) 10:00～15:00 (平成28年8月31日(日)に食育キャンペーン～野菜の日編～実施予定)</p> <p>【場所】 イオン倉敷 キッズリパブリック内(おもちゃ売場)</p> <p>【実施内容および参加人数】 延1,110人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●朝食を毎日食べることの啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・もこもこモーニング(電子レンジを使った簡単朝食の提案) 100個 約200人 ・朝食アンケート(媒体を作成して体験型のアンケート) 185人(父26人、母62人、こども97人) ・ティッシュ配布による簡単朝食レシピの紹介 593個配布 ●適正体重の啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・媒体を作成し展示 ●栄養・歯科相談(管理栄養士・歯科衛生士による相談) <ul style="list-style-type: none"> ・栄養相談 67人(大人36人、こども31人) ・歯科相談 65人(大人32人、こども33人) ●健康くらちゃん(マスコットキャラクター)の登場による啓発 3回
	  
	<p>もこもこモーニング 朝食アンケート 適正体重の啓発</p>   
	<p>歯科相談 健康くらちゃんによる啓発 当日スタッフ集合写真</p>

「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市名	岡山県
取組市町村名	玉野市
取組の名称	カレーパーティー
取組内容	<p>◎活動内容…園で収穫した野菜を使い、皆で料理して会食します。</p> <p>◎参加者(園児16名・職員6名)</p> <p>◎ねらい…①園児がじゃがいもや玉ねぎを育て、収穫の喜びを味わいます。 ②収穫した野菜を使って園児が料理を手伝い、食への関心を高めます。</p> <p>①について 園児が2月に種イモを、11月に玉ねぎの苗を植えて育てました。6月に収穫をしました。</p> <p>②について 活動前には手洗いや消毒、マスクやエプロンの装着、また手順や安全面での説明を全園児に徹底し、活動を始めました。</p> <p>3歳児は玉ねぎの皮むき、4歳児は人参の皮むき及び包丁で調理、5歳児はじゃがいもの皮むき及び玉ねぎとじゃがいもの調理をしました。</p> <p>園児が調理をした後、職員が、園児の育てている夏野菜のピーマンも加えて炒め、煮込み、味付けをしました。料理用の温度計で安全を確認し出来上がりました。</p> <p>その間年長児を中心にパーティー会場を準備し、異年齢全員集合して会食をしました。</p> <p>《成果》 「今までで一番おいしい」「毎日作って食べたい」「この人参はぼくが切ったんよ」など、直接体験できたことや、楽しい雰囲気の中で食べられたことで、食への喜びや関心を高めることができました。</p>
<p>行事の様子を保護者に向け、このように</p>	

「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市名	岡山市
取組市町村名	岡山市
取組の名称	自分で選んだ野菜の苗を育てよう。
取組内容	<p>ねらい:</p> <p>①自分で育ててみたい夏野菜の苗をお店に行って選んだり、購入したり、それを育てたりすることで、植物の生長に興味・関心を持ちます。</p> <p>②生育を観察する中で発見や収穫の喜びを保育士や友だちと共有します。</p> <p>③触れる、匂いをかぐ、調理してもらって食べるなど野菜を五感で味わいます。</p> <p>対象者: 宇垣保育園 5歳児11名(男児4名、女児7名)</p> <p>内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日に夏野菜の苗が販売されているのを見ていた子どもが、クラスでの集いの中で話したことを機に、どんな野菜があるかなど夏野菜についてクラスで話をしました。 ・夏野菜の苗を自分で選んで育てることになり、ホームセンターまで歩いて買いに行きました。中には、「お姉ちゃんが、トマト嫌いだから、(私がおいしく育てたトマトを)食べてもらいたい!」という理由で、野菜を選んだ子どももいました。トマトの苗の匂いをかいで、「苗もトマトの匂い(がする)!」と、友だちと匂いをかぎ合って確かめていました。 ・土づくりや苗植えをする時に、野菜の苗を植えた経験がある子どもは、苗が折れてしまわないように苗を指に挟んで育苗ポットから出すことを友だちに伝えている場面も見られました。 ・しばらくして、苗に花が咲いて虫が飛んできたのを見た子どもが「この虫は、受粉させるために来とんじゃ。」と、野菜ができるのを楽しみにしていました。ある日、小さな野菜ができているのを見て、「受粉出来とる!」と、保育士や友だちにその感動を伝え、共有することができました。 ・ズッキーニを育てていた子どもは、茎にも葉っぱにもトゲがあることを発見し、すぐに友だちにも伝えていました。 <p>収穫しようとした時に、トゲに触れてしまい、その痛み思わず手をすくめて「このトゲはなあ、自分を守るためにあるんじゃ。」と、自分の体験から思ったことを言葉にし、野菜が身を守るために成長の過程でトゲを作り出したということを感じているようでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この他にも、毎日の水やりをする中で、子どもたちはいろいろな発見をしているようでした。 ・育てた野菜を調理してもらって食べることで、子どもたちは「大事に育てた野菜は美味しい」と感じていました。 ・子どもたちは、お迎えに来てくださった保護者と一緒に、植えた野菜を見に行き野菜の成長について話をしたり、食べるのが楽しみだと話しながら持ち帰ったりしていました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>